

ごあいさつ

市議会に送っていただいて16年——市民のみなさんと力を合わせ、「市民が主役」の市政を支え、発展させるために力をつくしてきました。

松下市長と力を合わせ、PCR検査体制整備などのいち早いコロナ感染症対策、物価高騰からくらしを守る対策も実現してきました。

今、岸田自公政権のもと、「国葬」強行や統一協会とのゆ着問題など、民主主義が脅かされています。また、コロナ対策はなりゆきまかせ、物価高騰対策は一時しのぎです。物価は上がるのに賃金は上がりません。逆に自公政権は、年金を引き下げ、高齢者医療費を2倍に値上げするなど、くらしをこわす政治を続けています。軍事費増や憲法改悪など、海外で戦争できる国づくりへの暴走を止めようとしていません。

私は、自公政権による悪政と正面から対決し、市民のいのちと暮らしを守る市政をさらに発展させます。そして、憲法を守り活かす、希望ある政治を武蔵野市から広げていくために全力をつくします。

日本共産党武蔵野市議会議員

橋本しげき



実現しました

子育て・教育

- 保育園の待機児童ゼロ
- 保育施設の給食費無償化
- 18歳まで医療費無償化
- 学校体育館エアコン設置
- 物価高騰対策として学校給食費、保育食材費支援

くらし・福祉

- 国保税子ども均等割軽減
- 年金でも入れる特養ホームの増床（補助制度）
- 物価高騰対策として高齢者・障がい者施設への支援（食費・光熱費）
- くらし地域応援券の発行
- 被爆地への青年派遣など平和施策の充実、市のホームページも改善
- ミカレット（公衆トイレ）の改修・整備

平和・まちづくり

橋本しげき市議会議員の活動、その原点

●相談に寄り添って

新型コロナウイルス感染症拡大で「家賃が払えない」、「住民税が払えない」、など多くの相談が——。橋本しげき市議は、市の担当部署になくとともに、予算措置や制度の改善が必要なものには議会質問でとりあげ、予算要望に盛り込むなど、市民の声を市政に届けています。



予算要望を松下市長に提出(7月15日)

●市民の声を集めて

橋本市議は、「憲法改悪を許さない全国署名」や「武蔵野・三鷹両市への保健所設置、PCR検査の拡充等を求める要望署名」を集める先頭に立ち、運動を広げています。集めた署名を国会や東京都に提出し、市民の声を国政や都政に届けています。



三鷹駅北口にて保健所設置等を求める署名を訴える党市議員

●徹底した調査力と論戦力が評判です

2021年12月、住民投票条例案は、全国から右翼が押しかけて反対する状況が起こり、メディアの注目も集め、橋本市議はテレビや新聞の取材を受けました。

橋本市議は、議会質問の中で、反対する自民党や右翼の道理のなさを明らかにしました。徹底した調査に基づく質問と討論には、傍聴した方々から、「とてもよく理解できた」「市議会に絶対に必要な人」との声が寄せられました。



ロシアのウクライナ侵略に抗議する市民デモに参加(3月19日)

●平和への熱い思いが原点

「決して戦争を繰り返してはならない」——橋本市議が学生時代に日本共産党に入党した原点は、平和への熱い思いです。ウクライナ危機に便乗した憲法改悪、軍事費2倍化、海外で「戦争する国」づくりは許しません。